

教科書検討の観点から見た特色

新版 工芸Ⅱ (116-日文・工Ⅱ-701)

1 学習指導要領との関連

| 主要な観点 | 編集上の特色 | ページ |
|----------------|---|--------|
| 学習指導要領全般 | ●学習指導要領に示された「芸術科」の目標及び内容を踏まえ、生徒の「芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力」を育成することができるように、幅広い視点から題材を設定した。 | ●教科書全般 |
| 「工芸Ⅱ」の目標との関連 | ●学習指導要領に示された「工芸Ⅱ」の目標及び内容を踏まえ、生徒の「造形的な見方・考え方を働かせ」で、「美的体験」を深め、「生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と深く関わる資質・能力」を育成できるように、適切に題材を選択し、配列した。 ●題材の設定については、「工芸Ⅰ」の幅広い美的体験の上に立ち、高校生の造形的な発達に応じた取り扱いができるように配慮した。 | ●教科書全般 |
| 表現及び鑑賞の活動の取り扱い | ●全ての題材で表現と鑑賞を一体的に学習できるように配慮し、表現題材（演習）においても鑑賞活動を一体化させた。 ●表現題材（演習）では、「発想や構想に関する資質・能力と技能に関する資質・能力をとの調和を図って育成する」ことを目指して、題材を設定した。 ●鑑賞題材では、「発想や構想の独自性と表現の工夫、生活環境の改善や心豊かな生き方に関わる工芸の働きや、工芸の伝統と文化」に対する見方や感じ方を深めるなど、鑑賞における資質・能力が育成できるように作品を精選し、内容を工夫した。 | ●教科書全般 |

2 資質・能力の三つの柱との関連

| 主要な観点 | 編集上の特色 | ページ |
|------------------|---|--|
| 知識及び技能の習得 | ●題材のねらい、主文、作品解説など〔共通事項〕（知識）への意識を促す内容とし、学習を通して造形的な見方・考え方を深められるように配慮した。 ●学習する上で必要になる原理、材料、用具、技法、制作過程などについては主に各演習ページに掲載して、できるだけ詳しく解説し、内容理解の助けになるように工夫した。 | ●教科書全般 ●16,18～25 |
| 思考力、判断力、表現能力等の育成 | ●題材の本文などに見方や感じ方、考え方などの学びの視点を盛り込み、見方や感じ方を豊かにしながら、新たなものの捉え方や主題の生成ができるように配慮した。 ●演習ページでは、表現課題を示すとともに、鑑賞図版を掲載して表現と鑑賞を一体的に扱えるように工夫した。 ●スケッチや説明用の図版、設計図などを多く掲載し、表現活動をする上で発想や構想の手がかりとなるように配慮した。 | ●教科書全般 ●15・16,18,20～22,24 ●12～14,16～19,21,23,25,35 |
| 実感を伴う鑑賞活動への配慮 | ●素材の質感を体感したり、作者の表現の工夫が読み取れたりするように、できるだけ作品を大きく掲載するように配慮した。 ●工芸作品の形や大きさと機能の関係に眼を向けて身の回りのものを観察するなど、身近な生活や社会の中から鑑賞題材を選んで設定し、生活の中で工芸を意識し実感できるように工夫した。 ●各題材の本文を簡潔にし、学習のねらいや学びの目標を明確にして、生徒が学習に主体的に取り組めるように工夫した。 ●生徒が主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高めて、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養えるように、巻頭と巻末にオリエンテーションを設けた。 | ●教科書全般 ●4～13,28～35 ●教科書全般 ●2・3,46・47 |
| 学びに向かう力、人間性の涵養 | ●各題材の本文を簡潔にし、学習のねらいや学びの目標を明確にして、生徒が学習に主体的に取り組めるように工夫した。 ●生徒が主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高めて、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養えるように、巻頭と巻末にオリエンテーションを設けた。 | ●教科書全般 ●2・3,46・47 |

3 学習効果への配慮

| 主要な観点 | 編集上の特色 | ページ |
|----------------------|---|--|
| 編集意図の新鮮さ・明確さ | ●全体を鑑賞と演習（表現・鑑賞）で構成し、それぞれ「目」のマークと「手」のマークで示して、内容が分かりやすいように工夫した。 ●各題材に「ねらい」マークで学習のねらいを示し、関連する用語は「検索ワード」マークで、発展的な学習内容は「調べてみよう」「考えてみよう」マークで示した。 ●二次元コードを必要に応じて入れ、機器で読み取ると当該ページに関連する資料や動画などを参照できるように工夫した。 ●本文中に資料として「塗料と塗装」「和紙」「合成樹脂」を掲載し、巻末に「日本の伝統的工芸品」「日本の近代工芸史」「椅子の変遷に見るものづくり史」（観音開き）「アジアの伝統的な工芸品マップ」を資料としてまとめ、各題材と関連して使用できるように工夫した。 | ●教科書全般 ●教科書全般 ●19,23,29 ●17,26・27,36～45 |
| 内容の程度、正確性への配慮 | ●日本人作家、撮影者、読みにくい作品名、日常あまり使われない工芸用語などには振り仮名を付けるなどして、学習に役立つよう配慮した。 ●作品と作家の情報は、詳しく、正確で、分かりやすい表記を心がけた。 | ●教科書全般 |
| 他教科や中学校美術科との関連 | ●国語や歴史などの教科書に掲載されている工芸作家や作品など、他教科で取り上げられている内容を紙面に反映した。 ●木工、金工、陶芸など「工芸Ⅰ」の学習の上に立ち、生徒の造形的な能力の発達に応じた取り扱いができるように工夫した。 | ●教科書全般 |
| 主体的・対話的で深い学びとの関連 | ●ページの下部に「検索ワード」「調べてみよう」「考えてみよう」を設け、教科書内容と関連する事項や興味・関心のある事柄を主体的に学習できるようにした。 | ●教科書全般 |
| 時代への適応性及び環境への視点 | ●現在活躍している作家の作品を掲載したり、作家へのインタビューを設けたりするなど、高校生に工芸への親近感を持ってもらえるように工夫した。 ●「生活と工芸 住」の題材を設定して、住居や生活環境への意識が高まるように配慮し、「資料 和紙」では自然の材料である植物との関係を示し、巻末の「持続可能な社会と工芸」では、SDGsの発想から内容を提示するなど工夫を凝らした。 | ●教科書全般,28・29 ●11～13,26,46・47 |
| 人権尊重などへの視点 | ●他者との学び合いや話し合いの場を通して、学びの中から男女の平等、自他の敬愛を重んずる心情を培えるよう題材の設定や掲載作品の選択に配慮した。 ●題材名を色地と大きめの墨文字でコントラストを付けるなど、カラーユニバーサルデザインにも配慮した。 | ●教科書全般28・29 ●教科書全般 |
| 知的財産権や肖像権に関する配慮 | ●自己や他者の作品を尊重する態度を育み、工芸に関する知的財産権などについての理解の手がかりとなるように、掲載した各作品には作品名、作家名、所蔵先などを提示した。 | ●教科書全般 |
| 我が国及び諸外国の美術文化についての視点 | ●日本や諸外国の工芸の鑑賞題材の充実を図るとともに、生活に息づく我が国の伝統工芸やその技について知識を学びながらよさが実感できるように図版や解説を充実させた。 ●「アジアの伝統的な工芸品マップ」を掲載して、日本のみならず近隣諸国の工芸文化を理解する手がかりとなるよう配慮した。 | ●教科書全般 ●44・45 |

4 造本・体裁

| 主要な観点 | 編集上の特色 | ページ |
|---------|--|--------|
| 印刷 | ●工芸の教科書にふさわしく、作品のよさが正しく伝わるように、鮮明で、美しい印刷を心がけた。また、印刷用紙も印刷に最適な用紙を厳選した。 | ●教科書全般 |
| 製本 | ●判型はA4判とし、製本方式は、折ごとに糸でかがり表紙をつける形式で、破れにくく堅牢な造本にした。 ●ページ数は表紙を入れて48ページとした。 | ●教科書全般 |
| 安全性について | ●印刷は生徒のアレルギーなどを考慮して植物性インキを使用した。また、表紙の表面加工にも配慮し、教科書を使用するに当たった健康上の安全性に留意した。 | ●教科書全般 |
| 環境への配慮 | ●用紙は、表紙・本文とも再生紙を使用し、環境への配慮を十分にした。 | ●教科書全般 |